

第62回工学部工大祭 新型コロナウイルス感染症 対策ガイドライン (リスクレベル2)

九州工業大学第62回工大祭実行委員会
担当:田中 偉琉
〒804—8550
北九州市戸畑区仙水町1-1
九州工業大学工学部工大祭実行委員会
TEL. FAX(093)883—0679
MAIL tanaka.takeru122@mail.kyutech.jp

目次

1. 感染予防・感染拡大防止のための基本的な考え方	…3
2. 工大祭関係者(工大祭実行委員、企画出場者、学科展・サークル展、模擬店出展者等)及び来場者が行う具体的な対策	…3~4
3. 工大祭実行委員が行う具体的な対策	…5
4. カウンター(受付)に関する対策	…5
5. 野外ステージ(その他企画)に関する対策	…5~6
6. 学科展・サークル展等に関する対策	…6
7. 模擬店に関する対策	…7
6. ゴミ処理に関する対策	…7

2022/9/15

九州工業大学工学部第 62 回工大祭実行委員会

1 感染予防・感染拡大防止のための基本的な考え方

新型コロナウイルスの主な感染経路が「接触による感染」と「飛沫による感染」であること、また、発症前 1 日ないし 2 日前の無症状・無自覚状態が最も感染力が強いことと、クラスター対策の重要性が指摘されている。したがって、人の集まる工大祭の開催にあたっては、開催当日の九州工業大学戸畑キャンパス内はもちろん、大学周辺・開催前後においても「接触感染」と「飛沫感染」、「マイクロ飛沫感染」のリスクをいかに少なくするか、そして万が一感染が発生した場合に感染経路の追跡を可能とすることを感染予防・感染拡大防止対策の主旨とする。

工大祭関係者や来場者に対して、工大祭開催期間中に講じる対策と合わせ、開催前後における対策を徹底し、理解を促していく必要がある。また、来場者は本学に在籍している学生、教職員並びに、学外から参加する企画共演者(本ガイドライン遵守)や一般客(予約必須)のみ入構を許可する。

特に①密閉空間、②密集場所、③密接場面という 3 つの密(いわゆる「三密」)のある場所は、「接触感染」と「飛沫感染」を誘発する機会が高いと考えられる。本ガイドラインは、これを避けることで、自己への感染を回避するとともに、他人に感染させないように徹底することを旨とする。

2 工大祭関係者(工大祭実行委員、企画出場者、学科展・サークル展出展者、模擬店出店者等)及び来場者が行う具体的な対策

2.1 健康管理

工大祭関係者には毎朝の検温を徹底し、以下(1)(2)のいずれかに該当するものは参加できない。

■ (1)参加当日や過去 1 週間に遡って以下の①～④の症状のある者

①発熱(37.5℃以上か平熱より 1.0℃以上)

②風邪症状(咳、喉の痛み、鼻水、鼻づまり、全身倦怠感、全身の筋肉痛・関節痛、頭痛等)

③消化器症状(持続する下痢、悪心・嘔吐、腹痛、食欲不振)

④味覚障害・嗅覚障害

*ただし、鼻水、鼻づまり、頭痛、消化器症状が持病(アレルギー性鼻炎や偏頭痛等)によるものであることが明らかな場合は除く

(2)参加者の同居している家族や接触のあった知人等に感染者がいて、保健所や医師により濃厚接触者・健康観察者と特定されている参加者

- 工大祭関係者は指定場所でのみ食事(黙食徹底)を行う。
- 学外来場者は要予約とする。
- 工大祭関係者については PCR 検査を推奨し、陽性だった場合は入構禁止とする。ただし、ステージ登壇者等でマスクを外す者は PCR 検査を必須とし、陰性と判断された人のみ入構可能とする。
- 原則として不織布マスクの着用を必須とする。
 - ・布マスク、ウレタンマスク等の場合は、着用済みのマスクの上から不織布マスクをつける、または不織布マスクに取り替える。
 - ・不織布マスクを着用されていない来場者にはマスクの配布を行う。
- 手指消毒を徹底する。
- 工大祭公式の LINEbot の追加(LINE アカウント所有していない方は整理券を配布)を必須とし、各門を出入りする際と飲食スペースを出入りする際に LINEbot または整理券で行動確認を行う。
- 工大祭関係者の氏名、メールアドレス、電話番号を把握し、名簿を作成する。
 - ・上記の名簿は、名簿の情報が必要に応じて保健所などの公的機関へ提供されうることを事前に周知し事前承諾を得る事とする。
 - ・また、上記の名簿は工大祭実行委員会で保管し、個人情報保護の観点から、個人情報の保管には十分な対策を講じることとする。
- 身体的距離の確保を徹底する(1メートルを目安)。
- 咳エチケット等周りに配慮して行動する。
- 工大祭参加者や関係者は、工大祭終了後は、打ち上げ目的でも飲み会や会食等の感染リスクの高い行動は自粛すること

2.2 PCR 検査

- ステージ上にマスクをはずして登壇する者は事前に学校医が指定する PCR 検査を受けること。PCR 検査を受けたくない者はマスクはずしての登壇は認めない。
- 本 PCR 検査の結果、陽性疑いであった場合は、学校医から当該者のみに報告する。その後、すぐに指定した病院を受診し、医師の指示のもと再度 PCR 検査を受検すること。場合によっては、学校医の判断のみで陽性と診断することもある。陽性疑いの者は、工大祭そのものへ参加できない。陽性と確定診断されれば、感染者として保健所の指示に従い、自宅待機する。
- 学外からの参加でステージ上にてマスクをはずして登壇する者は、各自で PCR 検査を受けてもらい、結果を工大祭本部に報告すること。陽性疑いであった場合は同じく工大祭へ参加できない。

2.3 工大祭へ参加する学外者への対応

- 工大祭の企画へ参加する共演者等の学外者に対しては、実行委員から事前に本ガイドラインを周知し、遵守してもらうこと。
- 工大祭参加後 10 日間以内に新型コロナウイルス感染症と診断された場合は速やかに工大祭本部に報告する。

3 工大祭実行委員が行う具体的な対策

3.1 工大祭実行委員が行う基本的事項

- 各施設の入口にアルコール手指消毒剤を設置し、手指消毒を徹底する。
- ドアノブ、手すりなどの不特定多数の者が接触する可能性がある設備及び共有する物品に関しては、こまめな消毒を行う。
- 身体的距離の確保を徹底する(1メートル以上を目安)。また身体的距離の確保が困難な場合、パーティション等、身体的距離を置くことと同等の効果を有する措置をとる。
- 清掃やごみの廃棄を行うものは、手袋の着用を徹底する。
- 清掃作業を終えたものは、手洗いや手指消毒を行う。

3.2 体調不良者がでた場合の対応策

- 発熱や風邪症状等の体調不良者が出た場合は、氏名や連絡先、どのような体調不良かを控えた上で速やかに帰宅させる。必要に応じて救急車を呼ぶ。

4 カウンター(受付)における対策

カウンターは正門、西門、東門、西南門の全門に設置し、以下のコロナ対策を行う。

- 来場者は不織布マスクの着用を必須とする。
 - ・来場者が布マスク、ウレタンマスク等の場合は、不織布マスクに取り替える、または着用済みのマスクの上から不織布マスクをつける。
 - ・不織布マスクを着用されていない来場者にはマスクの配布を行う。
- 来場時にて、検温、手指消毒を行う。
- サーモグラフィーまたは非接触体温計による検温時に 37.5 度以上あった場合、脇差式体温計で再検温しても 37.5℃以上の場合は速やかに帰宅してもらう。
- 来場時にカウンターにて工大祭公式の LINEbot の登録を必須とする。
- 学外来場者で予約がない場合、速やかに帰宅してもらう。
- LINEbot にて、必要事項(氏名、メールアドレス、電話番号)を入力してもらう。
- LINE を使用していない方には整理券を配布する。また、氏名・メールアドレス・電話番号・体温を記入してもらう。
- 各門を出入りする際と飲食スペースを出入りする際に LINEbot または整理券で行動確認を行う。
- 机、椅子などの物品をこまめに消毒する。

5 野外ステージ(その他企画)に関する対策

5.1 野外ステージ(その他企画)における基本的事項

- ステージ登壇者及び企画出場者のうち PCR 検査を受けていない者は不織布マスクを着用して登壇する。

- ステージ登壇者及び企画出場者のうちマスクを外す者は PCR 検査を必須とし、陰性と判断された者のみ入構可能とする。
- 使用する物品、ステージ周りの機材についてこまめな消毒を行う。
- 水分補給以外での飲食を禁止する。
- 企画ごとに椅子や机などの消毒を行う。

5.2 企画出場者に対するケータリング

- 食事の提供は行わないこととする。
- ケータリングに関わるスタッフは事前に手洗いや手指消毒を行う。

5.3 ステージ企画での具体的な対策

- 企画出場者の人数は必要最小限に止め、ステージ上の最大人数を15名とする。
- ステージ上にて企画出場者の身体的距離の確保を徹底する(1メートル以上)。
- 身体的距離の確保が困難な場合、パーテーションなど、身体的距離をおくことと同等の効果を有する措置を講じる。
- 企画中や企画ごとにマイクの消毒を行う。
- ステージ周りの人数は上手及び控え室で60名まで、下手30名までとする。
- 仕込み、リハーサル、撤去などにおいて、十分な時間を設定する。

5.4 観客席での具体的な対策

- ステージと客席の距離は最低2メートル確保する。
- 不必要な私語、大声での歓声を禁止する。
- 観客同士の身体的距離の確保を徹底する(1メートルを目安)。

6 学科展・サークル展等に関する対策

6.1 学科展・サークル展における基本的事項

- 使用する物品や展示物はこまめな消毒を行う。
- 水分補給以外での飲食を禁止する。
- 人数制限を設け、原則常時換気を行うこととする。

6.2 サークル展・学科展出展者用飲食スペースでの具体的な対策

- サークル展出展者用飲食スペースの利用はサークル展出展者のみ利用可能とする。
- 座席は1席分間隔をあけて座る。
- 消毒液等の設置を行う。
- 一時間ごとに換気する
- 黙食を徹底する。
- 身体的距離の確保が困難な場合、パーテーションなど、身体的距離をおくことと同等の効果を有する措置を講じる。
- 利用後は工大祭実行委員が物品の消毒を行う。

7 模擬店に関するガイドライン

7.1 模擬店における基本的事項

- 飲食スペースを用意し、飲食スペース以外での飲食を禁止する。
- 各店舗行う新型コロナウイルス対策を公開する。
- 出店は大学の許可制とし、審査のため大学に出店内容を提供する。
- テントでの販売時、出店者と来場者の間に透明マルチを設置する。
- 店舗と店舗を間は1間（1.8m）分空けて設置する。
- 大声を出して集客を行わない。
- テント内は8人までとする。
- 各店舗に消毒液を設置し、こまめに手洗い、消毒を行う。
- 調理者はゴム手袋の着用を義務付ける。
- 購入待機列に案内を表示し、1mの間隔を開けて並ぶよう促す。
- 体調不良者がした場合、工大祭スタッフにすぐに連絡する。
- 出店者の中でコロナの疑いのある体調不良者が出店中に出た場合、そのテントは営業を中止とする。
- 購入待機列が混雑しないように約1mの間隔を開けるよう徹底する

7.2 模擬店用飲食スペースでの具体的な対策

- 生協・大学会館1F(旧コメドール)を模擬店用飲食スペースとする
- 工大祭実行委員1名は模擬店用飲食スペースに待機し、飲食者がルールに従っているか監視する。
- 飲食スペースの利用は模擬店での飲食物購入者のみ利用可能とする。
- 消毒液等の設置を行う。
- 一時間ごとに換気を行う。
- 座席は1席分間隔をあけて座る。
- 身体的距離の確保が困難な場合、パーテーションなど、身体的距離をおくことと同等の効果を有する措置を講じる。
- 利用後は工大祭実行委員が物品の消毒を行う。

8 ゴミの処理についての具体対策

- 衛生ゴミは蓋付きのゴミ箱に捨てる。

※本ガイドラインに従った取り組みを行う旨を HP や SNS で公表する